

平成 29 年度 衝突被害軽減制動制御装置 [対歩行者：昼間] 性能試験方法

3.4 気象条件

- (1) 試験時の気温は 0~~5~~℃～40℃の範囲であること。
- (2) 試験時の平均風速は 5m/s 以下であること。
- (3) 試験時の視程は 1km 以上であること。
- (4) 自動車製作者等からの申告により、以下の陽光条件下での試験を回避することができる。
 - ・試験時の照度が 2000Lux 以下の場合。
 - ・試験自動車及び試験用ターゲットの影以外に、基準走路付近に強い影が生じている場合。
 - ・試験自動車の正面或いは背面から直射日光が当たる場合。
 - ・試験時の気温が 5℃未満の場合。

4. 試験方法

4.2 暖機走行

試験を開始する前に 4.1 項に準じた方法で原則 35 回の再すり合わせを行うこと。なお、4.1 のすり合わせ走行から試験までの期間が 2 週間を超えている場合には、再すり合わせを~~は~~、試験自動車の制動装置の状態に応じて 50 回まで行うことができる。

4.3 基準評価試験

- (7) 試験の実施要領：試験は、CPNO シナリオ、CPN シナリオの順で実施する。各シナリオ試験とも最も低い速度条件或いは自動車製作者等より申告された速度条件から開始する。試験車速の引き上げ間隔は 5km/h とするが、3 回の試験中 2 回以上衝突を回避した場合は試験車速を 10km/h 引き上げることができる（5km/h 増の条件はパス）。10km/h 引き上げた条件でも同様に衝突を回避した場合は、パスした 5km/h 増の条件も衝突を回避したものとして扱うことにする。ただし、3 回の試験中 2 回以上衝突を回避できなかった場合は試験車速を 5km/h 引き下げて、パスした 5km/h 増の試験も実施しなければならない。

以降、同様の手順で最も高い速度条件或いは自動車製作者等より申告された速度条件まで当該試験を実施する。ただし、同じ速度条件の試験中に衝突速度が 40km/h 以上の場合が 2 回となった時点で当該シナリオを終了する。

なお、CPNO シナリオの試験において衝突を回避した速度条件については、CPN シナリオの試験においても同様に衝突を回避したものと~~する扱い、パスすることができる。~~

- (8) AEBS 試験時のアクセル操作：計測区間中はアクセル操作量を一定に保ち、AEBS の作動に影響を及ぼさないようにすること。なお、AEBS の作動に合わせてアクセルペダルを制御する試験自動車にあっては、自動車製作者等と協議の上、AEBS 作動中のアクセル操作量を調整することができる。
- (9) FCWS 試験時のアクセル／ブレーキ操作：試験自動車のアクセルペダルは FCWS 作動時から 1.0 秒後にリリースすること。ブレーキペダルは FCWS 作動時から 1.2 秒後に踏み込みを開始

し、通常時に $4.0 (+0.25) \text{ m/s}^2$ の減速度を発生する踏み込み量まで 0.2 秒間で到達する速度（ただし、踏み込み速度の最大は 400 mm/s ）で踏み込み到達し、予め設定したペダル踏力を維持すること。これらのブレーキ操作の設定値（ペダル踏み込み量、踏み込み速度及びペダル踏力）については、自動車製作者等から申告された値を用いる。自動車製作者等から設定値の申告が無い場合、或いは通常時に発生する減速度が許容範囲（ $4.00 \sim 4.25 \text{ m/s}^2$ ）を超える場合は、付録 E に記載した方法により機構側で設定する。

なお、本試験を精度良く実施する上では、試験自動車に自動運転装置等の操作入力機器を装着することが望ましい。

- (10) FCWS 試験において FCWS 機能の有無に関わらず、AEBS 試験と同一の結果が得られることが明らかな場合は、AEBS 試験の結果を当該試験結果とすることができる。同様に、AEBS 試験において、~~付録 E~~ FCWS 作動時から衝突までに要した時間が 1.2 秒以下の場合は、AEBS 試験の結果を当該試験結果とする。

4.4 部分評価試験

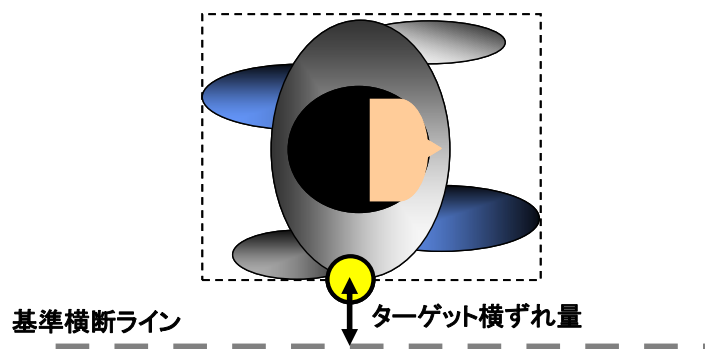
- (3) 試験の実施要領：試験は①～⑤の順に実施する。なお、基準評価試験における CPN シナリオの代表車速条件において衝突を回避した場合は、②の試験も同様に衝突を回避したものとする扱い、パスすることができる。

なお、⑤の試験においては①～⑤の順によるほか、CPNO 基準評価試験の終了直後に実施することができることとする。

付録 D 試験用ターゲットの動作状況に関する判定条件

D.2 ターゲットの移動経路による判定

D.1.1 と同様の測定区間において、付図 D に示す「試験用ターゲット横ずれ量の横位置（基準横断ラインからの距離）」が $\pm 0.1 \text{ m}$ の範囲に入っていること。ただし、当該指標を直接計測することが困難な場合は、相対的な位置関係が等価な二点間の距離を用いて推定してもよい。



付図 D ターゲット横ずれ量の定義